

②介護度

◆障害者手帳保有者の6割以上が介護認定を受けている

障害者手帳を保有している介護サービス利用者のうち、62.2%が介護認定を「受けた」としており、「受けていない」(24.3%)を大きく上回っている。一方、障害者手帳を所有していない介護サービス利用者では「申請中」(5.0%)以外はすべて介護認定を「受けた」としている。

■ 介護認定の有無

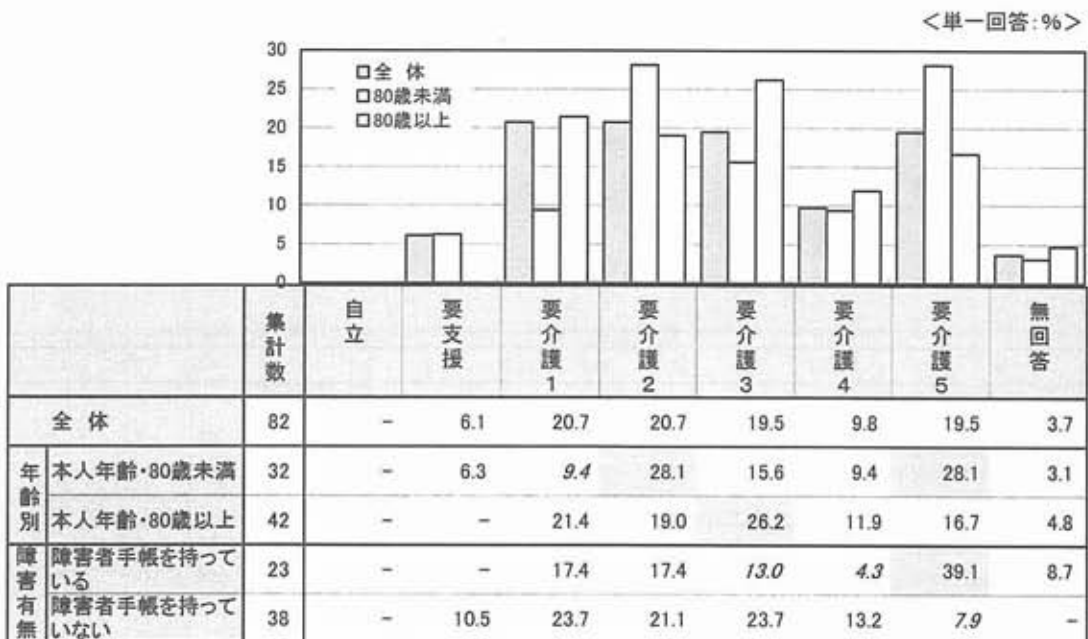


◆80歳以上の介護度は「要介護3」が多く、障害者手帳所有者では「要介護5」が多い

介護認定を「受けた」利用者の介護度は、「要介護4」を除くと「要介護1」から「要介護5」までそれぞれ20%前後ではほぼ同率となっている。

80歳未満では「要介護2」と「要介護5」の割合が高く、軽度認定と重度認定の二極化傾向がみられ、80歳以上では「要介護3」を最大に「要介護1」から「要介護3」で7割近くを占める。

障害者手帳所有者では「要介護5」が約4割を占め、重度認定者の割合が高い。



注) 表中、アミは全体よりも5ポイント以上大きいもの、同太字斜体は5ポイント以上小さいもの

### ③受けている介護サービス

◆重度認定者では「通所介護」「短期入所」「グループホーム」などの介護サービス利用が多い

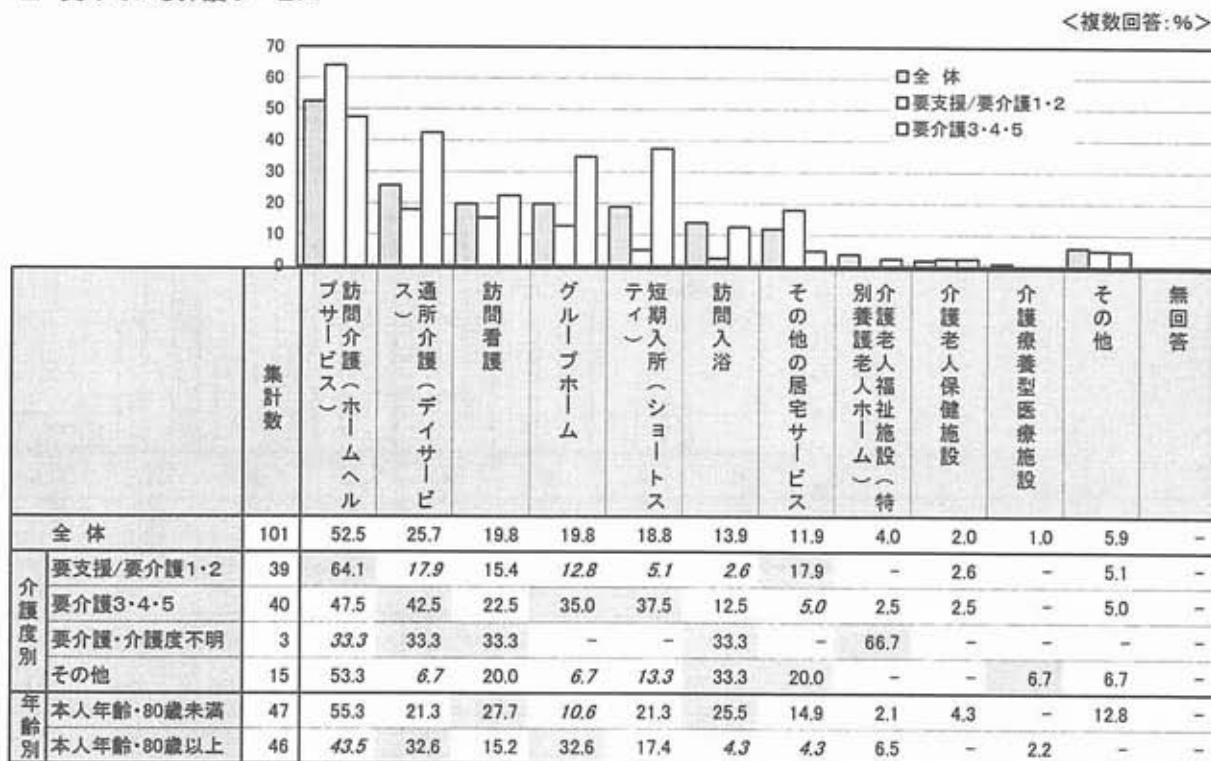
現在受けている介護サービスを複数回答してもらった結果、約半数が「訪問介護（ホームヘルプサービス）」を利用している。以下、「通所介護（デイサービス）」の25.7%を始め、「訪問看護」「グループホーム」「短期入所（ショートステイ）」が20%弱で続く。割合の累計は170%近くに達し、複数サービスの利用者も少なくないことを示している。

介護度別には要介護3以上の重度認定で「短期入所（ショートステイ）」「通所介護（デイサービス）」「グループホーム」の利用率が要介護2以下の軽度認定者に比べ20ポイント以上高くなっている。一方、要介護2以下の軽度認定者では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「その他の居宅サービス」の利用が高くなっている。

◆80歳未満では「訪問入浴」「訪問看護」、80歳以上では「グループホーム」「通所介護」の利用が多い

年齢別にみると年齢を問わず「訪問介護（ホームヘルプサービス）」の利用がもっとも高くなっている。2番目以降の利用サービスでは両者に差がみられ、「訪問入浴」「訪問看護」は80歳未満、「グループホーム」「通所介護」は80歳以上に多くなっている。

#### ■ 受けている介護サービス



注)表中、アミは全体よりも5ポイント以上大きいもの、同太字斜体は5ポイント以上小さいもの

### 3.受けている医療行為と希望

#### ①受けている医療の行為者

i.全体（「家族が回答」と「本人が回答」の合算）

◆3割を超えるヘルパーが「爪切り」「外用薬の塗布」「服薬管理」「血圧測定」を日常的に実施

現在、日常行っている医療行為について、その処置やケアを実際に誰が行っているかたずねた。ヘルパーが行っているとした医療行為は多い順に「爪切り」「外用薬の塗布」（＝40%台）「服薬管理」「血圧測定」（＝30%台）「点眼」「食事療法の指導」（＝20%台）などである。一部の医療行為についてはヘルパーが行っている現状がみてとれる。これら医療行為は「血圧測定」を除き、「家族が実施」「本人が実施」しているケースも多くみられる。

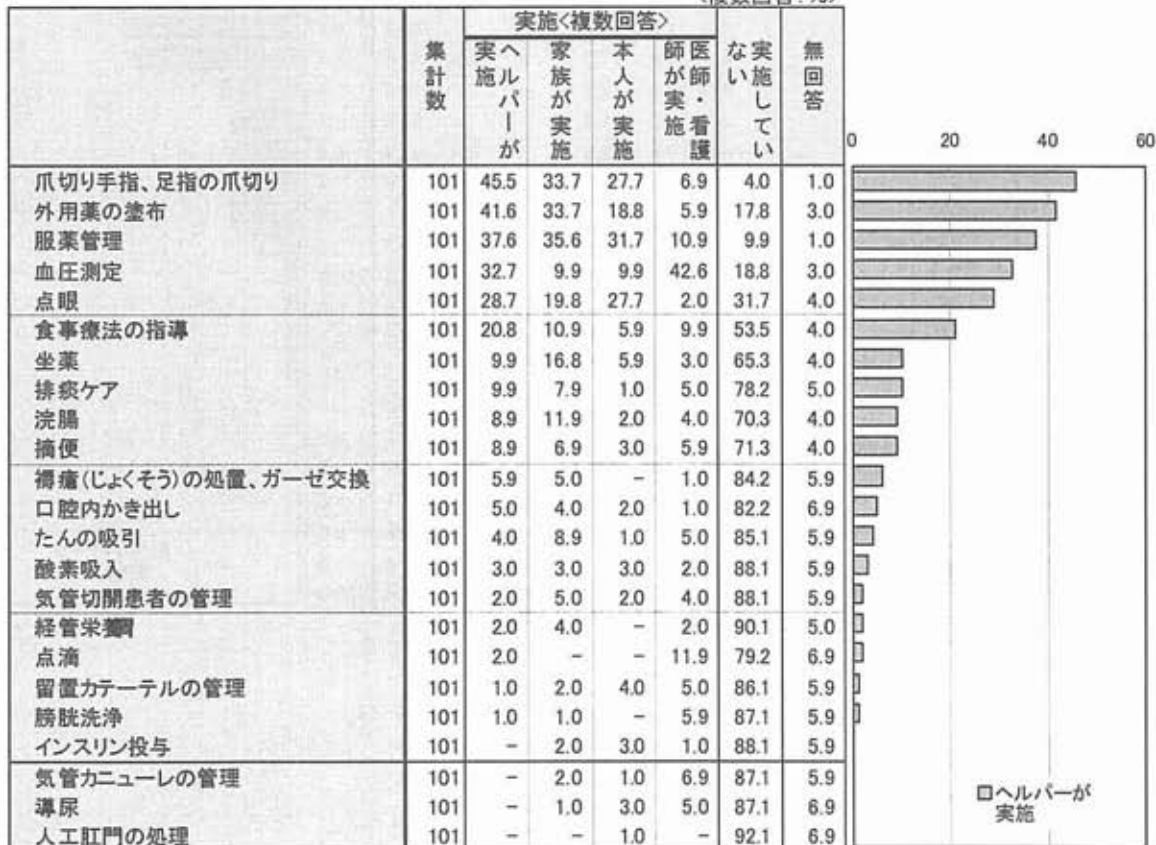
「坐薬」「排痰ケア」「浣腸」「排便」をヘルパーが実施する割合は1割弱に低下するが、これらの医療行為は「実施していない」とする割合が6～8割近くに及び、実施しているケースだけでみるとヘルパーの実施関与は小さいものとはいえない。

「血圧測定」は「ヘルパー」「医師・看護師」ともに高いが、「点滴」「気管カニューレの管理・交換」「留置カテーテルの管理」「膀胱洗浄」などは「ヘルパー」の実施はほとんどなく、「医師・看護師」の実施が上回る。

#### ■ 日常における医療行為の実施状況

回答者：全体

<複数回答：%>



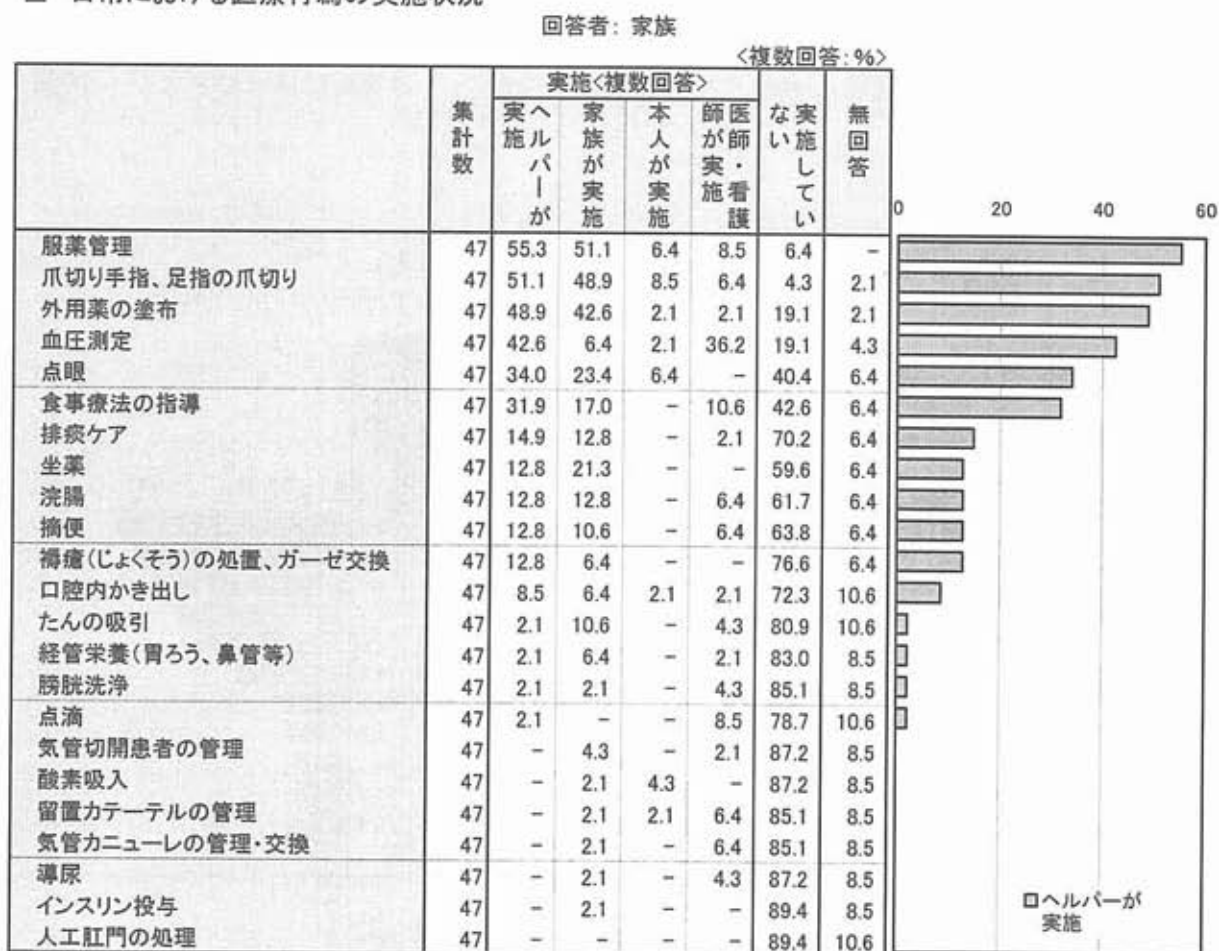
ii.回答者が家族の場合

◆「服薬管理」と「爪切り」はヘルパーと家族の両者が実施するケースも多い

家族が回答した結果では「ヘルパーが実施」している医療行為として半数以上が「服薬管理」と「爪切り」をあげている。「服薬管理」と「爪切り」は全回答を合わせると120%前後となり、ヘルパーと家族の両者が実施するケースも多いものとみられる。また、「外用薬の塗布」「血圧測定」「点眼」「食事療法の指導」も「ヘルパーが実施」している医療行為として3割以上があげている。

「ヘルパーが実施」している医療行為は、「家族が実施」する割合も同時に高くなっているが、「血圧測定」のみは6.4%が実施するにとどまっている。一方、「家族が実施」する割合が「ヘルパーが実施」よりも高いものは、「坐薬」「たんの吸引」などであった。

■ 日常における医療行為の実施状況



iii.回答者が本人の場合

◆本人が回答結果では「服薬管理」「爪切り」「点眼」など半数以上が「本人が実施」

介護サービス利用者本人が回答した結果では、半数以上が「服薬管理」「爪切り」「点眼」などを「本人が実施」している。アンケートに回答する意思・判断力や体力があることから、いくつかの簡単な日常的医療行為が可能な状況にあるものとみられる。したがって、家族が回答した介護サービス利用者にと比べると、ほとんどの医療行為でヘルパーや家族の実施率が低く、自分自身で処理できる範囲が広がっている。

■ 日常における医療行為の実施状況

回答者: 本人

<複数回答:%>

	集計数	実施<複数回答>						無回答
		実ヘルパーが	家族が実施	本人が実施	医師が実施・看護	ない	実施していない	
爪切り(手指、足指の爪切り)	46	34.8	19.6	50.0	8.7	4.3	-	
外用薬の塗布	46	30.4	28.3	39.1	10.9	15.2	2.2	
血圧測定	46	15.2	10.9	17.4	50.0	19.6	2.2	
服薬管理	46	13.0	21.7	58.7	13.0	13.0	2.2	
点眼	46	13.0	17.4	50.0	2.2	26.1	2.2	
坐薬	46	4.3	13.0	13.0	4.3	69.6	2.2	
洗腸	46	4.3	13.0	4.3	-	78.3	2.2	
食事療法の指導	46	4.3	6.5	13.0	8.7	67.4	2.2	
気管切開患者の管理	46	4.3	6.5	4.3	6.5	89.1	2.2	
たんの吸引	46	4.3	6.5	2.2	4.3	89.1	2.2	
排便	46	4.3	4.3	4.3	4.3	80.4	2.2	
排痰ケア	46	4.3	2.2	2.2	4.3	87.0	4.3	
酸素吸入	46	4.3	2.2	2.2	4.3	91.3	2.2	
留置カテーテルの管理	46	2.2	2.2	6.5	4.3	87.0	2.2	
点滴	46	2.2	-	-	13.0	82.6	2.2	
褥瘡(じょくそう)の処置、ガーゼ交換	46	-	4.3	-	2.2	91.3	4.3	
インスリン投与	46	-	2.2	6.5	-	89.1	2.2	
口腔内かき出し	46	-	2.2	2.2	-	93.5	2.2	
気管カニューレの管理・交換	46	-	2.2	2.2	8.7	89.1	2.2	
導尿	46	-	-	6.5	6.5	87.0	4.3	
人工肛門の処理	46	-	-	2.2	-	95.7	2.2	
経管栄養(胃ろう、鼻管等)	46	-	-	-	-	97.8	2.2	
膀胱洗浄	46	-	-	-	8.7	89.1	2.2	

□ヘルパーが実施

## ②医療行為の依頼希望

### ◆本人回答に比べると家族の回答の方が介護職への実施要請が多い

介護職に実施してほしいと思っている医療行為は、「爪切り」の42.6%を最大に、「点眼」「外用薬の塗布」「たんの吸引」「服薬管理」(=30%台)、「排痰ケア」「浣腸」「血圧測定」「坐薬」(=20%台)が上位にあがっている。

現在、ヘルパーが行っている医療行為と介護職への希望のギャップをみると、現在比較的ヘルパーが行っているケースが多い「血圧測定」「外用薬の塗布」「服薬管理」「食事療法の指導」「爪切り」は希望割合でも高いものの、希望割合が実施割合を上回ることはない。一方、「たんの吸引」で30ポイント近く希望が上回ったほか、「排痰ケア」「口腔内かき出し」「摘便」「坐薬」「酸素吸入」「褥瘡(じょくそう)の処置、ガーゼ交換」「浣腸」で10ポイント以上上回っている。このギャップは利用者サイドの介護職関与へのニーズや期待感の大きさを示している。

また、「気管カニューレの管理・交換」「導尿」「膀胱洗浄」「気管切開患者の管理」「点滴」「留置カテーテルの管理」については医療職が実施することを20%以上が希望しており、介護職が実施することを希望する利用者はほとんどみられない。

■ 介護職への医療行為の依頼希望状況

<複数回答: %>

	介護職に実施希望			医療職に実施希望		
	全体	本人が回答	家族が回答	全体	本人が回答	家族が回答
集計数(人)	101	46	47	101	46	47
爪切り(手指、足指の爪切り)	42.6	30.4	53.2	1.0	-	-
点眼	35.6	17.4	48.9	1.0	-	-
外用薬の塗布	33.7	23.9	42.6	1.0	-	-
たんの吸引	32.7	15.2	42.6	11.9	6.5	12.8
服薬管理	30.7	17.4	40.4	4.0	4.3	2.1
排痰ケア	28.7	15.2	36.2	3.0	-	2.1
浣腸	25.7	21.7	29.8	5.9	-	8.5
血圧測定	24.8	13.0	31.9	6.9	6.5	6.4
坐薬	21.8	8.7	31.9	5.9	2.2	6.4
摘便	19.8	15.2	21.3	9.9	-	12.8
褥瘡(じょくそう)の処置、ガーゼ交換	19.8	13.0	27.7	7.9	4.3	8.5
口腔内かき出し	15.8	8.7	19.1	5.0	2.2	6.4
酸素吸入	15.8	6.5	17.0	13.9	6.5	17.0
食事療法の指導	14.9	4.3	23.4	5.9	2.2	6.4
経管栄養(胃ろう、鼻管等)	10.9	8.7	8.5	16.8	8.7	19.1
インスリン投与	9.9	2.2	12.8	14.9	8.7	17.0
人工肛門の処置	7.9	2.2	10.6	12.9	4.3	14.9
点滴	5.9	2.2	8.5	20.8	15.2	23.4
気管切開患者の管理	4.0	6.5	-	21.8	13.0	23.4
気管カニューレの管理・交換	3.0	-	4.3	28.7	21.7	29.8
導尿	2.0	-	2.1	26.7	10.9	34.0
膀胱洗浄	2.0	2.2	-	23.8	6.5	34.0
留置カテーテルの管理	1.0	-	-	20.8	8.7	25.5
その他	3.0	2.2	4.3	-	-	-
無回答	31.7	47.8	21.3	50.5	58.7	48.9

注) 上位5項目にアミカケ、最大値に白抜き数字、



## 参考文献

1. 篠崎良勝：どこまで許される？ ホームヘルパーの医療行為、一橋出版株式会社 2002年12月
2. (株)ヘルスケア総合政策研究所：ホームヘルパー消滅の危機、日本医療企画 2001年5月
3. 民間病院問題研究所：介護現場の医療行為、日本医療企画、2000年4月
4. ヘルスケア総合政策研究所：ホームヘルパー消滅の危機、日本医療企画、2001年5月
5. 神奈川県老人ホーム協会事故防止対策検討委員会：介護事故リスクマネジメント、日総研出版、2002年3月
6. 国民生活センター：介護事故の実態と未然防止に関する調査研究、2000年3月







介護現場における医療行為実施上のリスクを  
認識するためのマニュアル開発事業

---

- 第1章 調査の概要とその結果
- 第2章 介護現場における医療行為の諸問題
- 第3章 介護職向け医療行為のマニュアル
- 第4章 医療処理リスク認知マニュアル
- 第5章 アンケート調査の結果

2004年3月発行

特定非営利活動法人

**NPO人材開発機構**

東京都渋谷区代々木3-24-4

電話 03-5304-5330

---